

古家具を長くお使いいただくために

古家具の特性・設置・日頃のお手入れ

古家具古道具そうすけ

このたびは、古家具古道具そうすけの家具をお選びいただき、ありがとうございます。

私たちが扱う古家具は、長い年月を使われてきたものです。傷やシミ、反り、小さな割れ、修理の跡も、その家具が歩んできた時間の一部です。

そうすけでは一点一点状態を確認し、これからも使っていただけるよう修理と手入れをしてお届けしています。長くお使いいただくために、知っておいていただきたいことをまとめました。

古家具・無垢材について

古家具の多くは、無垢の木を使って作られています。湿気の多い季節には膨らみ、乾燥する季節には縮むため、季節によって引戸や引き出しの動きが多少変わることがあります。

エアコンや暖房器具の風が直接当たる場所、強い直射日光が長時間当たる場所では、乾燥・反り・割れなどが起こりやすくなります。急激な温度・湿度の変化を避けてお使いください。

家具の設置について

古家具には、長い年月の中でわずかな反りやねじれが生じていることがあります。また、床の傾きや凹凸によって、引戸や引き出しの動き、家具本体の安定性が変わることがあります。

家具がガタつく場合や、引戸・引き出しの動きが悪い場合は、安定して水平に設置されているかをご確認ください。必要に応じて、脚や底面の下に薄い板やフェルトを入れて高さを調整すると、動きが改善することがあります。

無理に家具本体をねじったり、強い力を加えて調整しないでください。

日頃のお手入れ

普段のお手入れは、柔らかい布での乾拭きで十分です。汚れが気になる場合は、固く絞った布で拭いたあと、水分が残らないよう乾拭きしてください。水分を長時間残したり、濡れたものや熱いものを直接置いたりすると、シミや変色の原因になることがあります。

除菌スプレーや除菌シートなど、アルコール分の入ったものは、塗装を傷めたり、はがしてしまう恐れがありますので使用しないでください。

動きが悪くなったり、壊れてしまったら

長く使っていると、引戸や引き出しの動きが変わったり、接着部分が外れたり、木に割れが生じることがあります。開閉が硬くなった場合は、木同士がこすれる部分や干渉する部分に口ウをこすりつけると、滑りがよくなり、動きが改善することがあります。

それでも改善しない場合や、無理に力を入れないと動かない場合は、使用を止め、そうすけまでご相談ください。接着部分が外れた場合も、ご自身で接着剤を使用する前にご相談ください。

古家具は、傷がついても、壊れても、直しながら使っていくことができます。

古くから長い年月を生き残ってきた家具や道具たちです。

少しくらい傷がついても、汚れても、それもまた使ってきた時間のひとつ。

あまり神経質にならず、これからの暮らしの中でガンガン使っていだけたら嬉しいです。